

代表取締役の異動、役員人事および執行役員人事に関するお知らせ

株式会社ゼネラル（以下、当社）は2026年3月24日開催の取締役会において、代表取締役の異動、役員人事および執行役員人事について決議し、本日開催の株主総会においても同人事が決議されましたので、お知らせいたします。本日付で、蛭子毅が代表取締役社長、増田幸司が取締役会議長、大河原進が取締役執行役員副社長に就任しました。

当社は昨年8月からエアー&ウォーター・カンパニーのパロマリームホールディングス（以下、PRH）グループの一員となりました。ここからはグループの空調事業の成長をヒートポンプ事業で支える中核企業として新たなフェーズに入ります。今回の人事は、昨今の環境変化を踏まえて、経営のスピードを上げ、国内外において確実に事業の成長を実現するための体制を整えることを目的としています。

新たなフェーズでは、PRHグループ各社との連携を強化することで、国内のみならずグローバル市場における事業成長を加速させます。それを牽引するために、国内外の空調事業で豊富な経営経験を有する蛭子がトップとして事業推進の陣頭指揮を執り、増田および大河原が経営基盤を支える体制に移行します。同時に取締役および執行役員の数を削減しスリム化した体制により、迅速な意思決定と機動的な経営を目指します。

代表取締役社長に就任する蛭子毅は次のように述べています。「ゼネラルには大きく世界に飛躍できるチャンスがあります。ゼネラルの持つ優れた製品や技術力を活かし、PRHグループの中で空調と給湯の技術の融合を進め、収益拡大を目指します。エアー&ウォーター・カンパニーとしてのPRHグループの世界における存在感を高め、持続的な成長を実現できるよう努めてまいります。」

ゼネラル役員異動（2026年3月25日付）

役職	氏名	現役職
代表取締役社長	蛭子 毅	取締役
取締役	増田 幸司	代表取締役社長
取締役執行役員副社長	大河原 進	取締役上席執行役員
監査役	加納 俊男	執行役員

※ 増田幸司は3月25日付で取締役会議長に就任

以下7名については退任いたします。（2026年3月25日付または3月31日付予定）

役職	氏名
取締役	寺坂 史明
取締役	桑山 三恵子
取締役	大澤 善雄
取締役	瀬戸 まゆ子
監査役	井上 彰
取締役執行役員副社長（執行役員は3月31日付で退任）	長谷川 忠
取締役執行役員副社長（執行役員は3月31日付で退任）	川西 俊幸

新任代表取締役の略歴

蛭子毅（えびすたけし）

- ・ 生年月日：1962 年 9 月 1 日生
- ・ 略歴：

1988 年 4 月	ダイキン工業株式会社入社
2011 年 7 月	同社 取締役兼副社長執行役員 経営企画担当
2014 年 4 月	同社 取締役兼 Goodman Manufacturing LLC 取締役社長兼 CEO
2023 年 11 月	株式会社パロマリームホールディングス エグゼクティブフェロー（現在）
2025 年 8 月	株式会社富士通ゼネラル（現 株式会社ゼネラル）取締役

パロマリームホールディングスについて

パロマリームホールディングスは、空調と給湯の両事業を展開する世界有数のエアー＆ウォーター・カンパニーです。日本のパロマ、ゼネラル（旧富士通ゼネラル）、米国のリームからなり、主に空調、給湯、暖房、厨房機器の製造販売を手掛けています。1988年にパロマがリームを買収して以来、両社は互いを尊重しながら、40年にわたり強固なパートナーシップ関係を築いてきました。また、技術革新と品質向上を追求しつつ、北米・欧州を中心に積極的に M&A を推進し事業の拡大を図ってきました。2025年にはゼネラルを買収、エアー＆ウォーターのリーディング企業としての地位を確固たるものとしています。

パロマリームホールディングスは、世界の人々の快適な暮らしを支えるエッセンシャル・サポート・カンパニーとして、お客様のニーズに応える空調・給湯製品の開発や普及に注力しています。現在、世界 29ヶ国に拠点を置き、100ヶ国以上で事業を展開しています。グローバルベースで従業員数は約 26,000人、製造拠点は 43 拠点、研究開発拠点は 25 拠点を有しています。2024年12月期のグループ売上高は約 1兆円、営業利益は約 1,000億円でした（ゼネラルを除く）。詳細はウェブサイトをご覧ください。 <https://www.pr-holdings.co.jp/>

以上

お問い合わせ先

報道関係：コーポレートリレーション室 www.generalww.com/jp/contact/news.html